

真名畑林道鎌田支線が鎌田川を離れてゆく地点から沢に入る。11:50遡行開始。この地点ではもう沢も細く、水量も少なく、源流に近い状態である。この沢も花崗岩帯でなく、岩肩がゴロゴロしている礫倉破砕帯を流れている。遡行を始めた地点の状態から、滝は期待できないと感じていたが、案の定1mの小滝2つを見るだけに終わってしまった。30分程遡ると、左岸に再び林道が出てきた。そして沢はもう細々とした流れとなってしまった。遡行終了12:20。(記・

[タイム] 遡行開始(11:50)→遡行終了(12:20)

大戸岳周辺の沢

城入沢右支流

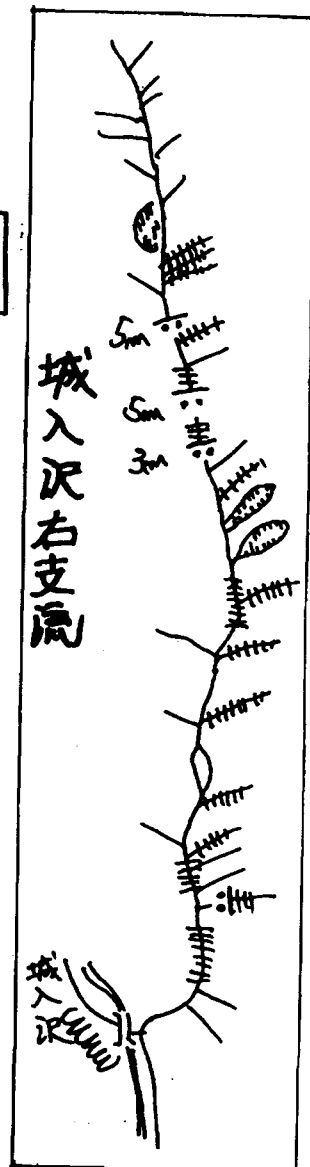
1990年7月8日

L5

前夜福島より車を飛ばして下郷町へ。車1台を寺沢の出合近くに止めたあと、付け替えになった旧国道上で仮眠。

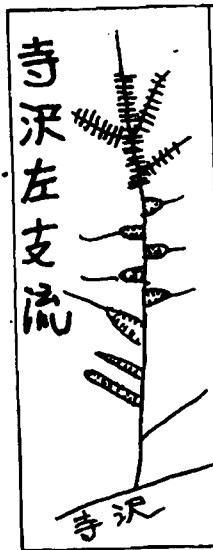
城入沢ぞいには林道が入っている。白松沢出合付近の退避所に車を置き、歩き始める。林道は、地図の記載よりだいぶ奥まで延びているようで、今日入る予定の右支流出合を越えて、更に奥へと延びていた。

7:35出合。水量比は2:1。沢は比較的平坦で、木漏れ日が差し込み、広く明るい感じである。所々ナメも現われ、きれいな沢である。左岸より水量は少ないものの支沢が多数かかり、ナメ状であったり広く侵食されたりしている。地図と対照してみたが、どれだか特定することは難しい。



8:40二俣を右に進むと、ようやく最初の滝が現われる。3m, 5mのナメ滝だ。そして5m滝を越えともう源流である。左右から支沢が合わさり、水量も少なくなる。水が消えてもヤブはそれほど悪くなく、明るい源頭である。左の斜面に取り付くと、すぐ稜線となる。10:00遡行終了。 (記・新)

[タイム] 出合(7:35)→二俣(8:40)→遡行終了(10:00)

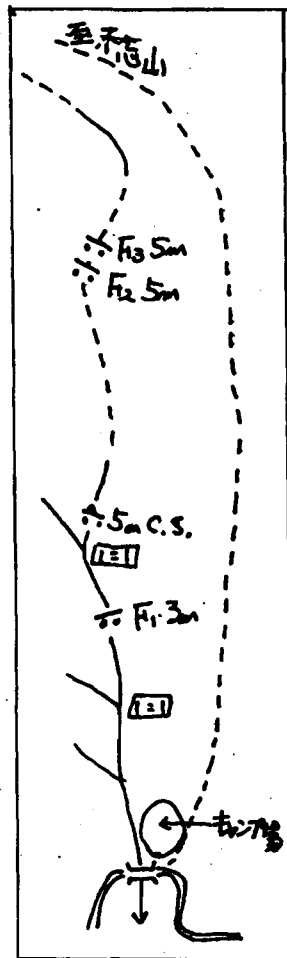


寺沢左支流 1990年7月8日
L5

稜線上でひと休みしてから下降にかかる。ヤブをこいで降りていくと、足場の悪いガレ場に出る。落石に注意しながら降りていくと、沢状となった。沢は急な種状のナメで、慎重に下る。沢には特になにもなく、ナメ状に侵食された支沢が左右から合流するが、水量はごく少ない。やがて沢の傾斜もゆるくなり、堆積物も多くなってきた。一部伏流となっている所もある。

11:10寺沢本流に出る。水量比は5:1である。そのまま本流を下降して、11:50鶴沼川出合。鶴沼川を渡渉して終了とする。12:15。 (記・)

[タイム] 稜線(10:00)→寺沢本流(11:10)→下降終了(12:15)



蔵王・ケチャグラ沢

1990年6月24日